



湯浅町制施行 130周年記念式典

6月28日①、町制施行130周年を記念する式典を開催しました。
当日は500名の方々にご参加いただき、湯浅町の節目を祝いました。



オープニング ～和太鼓 心音～



自治功労表彰 個人 39 名・1 団体



開式の辞

本日ここに、「湯浅町制施行百三十周年記念式典」を挙行いたしましたところ、公私ともご多用の中、国会議員の皆様をはじめご来賓各位、並びに町民の皆様にも多数ご参列をいただき、心より御礼申し上げます。

おかげさまで本年、湯浅町が誕生してから百三十周年を迎えることができました。これもひとえに先人たちのたゆまぬ努力と、町民の皆様をはじめ関係各位の温かいご支援の賜物であり、深く敬意を表する次第であります。

海と山に囲まれ、豊かな自然に恵まれたこの湯浅は、古くから交通の要衝として栄え、有田地方における行政・商工業の中心として発展を遂げてまいりました。「醤油醸造の発祥の地」として日本遺産に認定された文化と伝統、趣ある町並み、湯浅湾がもたらす豊かな海の幸、世界農業遺産に認定されたみかん農業など、私たちの湯浅町には、誇るべき魅力が数多くございます。





講演会「歴史的まちなみと体験型観光について」



パネルディスカッション
「町並みと観光 (まちあるき)」



社会功労表彰 個人 37 名・2 団体



式典当日の様子、
130周年記念誌はこちら▼



もちまき・お菓子まき



これらの文化、産業の担い手であった先人たちは、伝統を受け継ぎながらも進取の気性を持ち、自らの力で新しい時代を切り拓いてくれました。その精神こそが、今日の湯浅町の礎となっていると確信しております。

私たちは、先人から受け継いだ誇りを礎として、「歴史と人の温もりで支え合うまち湯浅」の実現のため、常に町民の皆様の安心、安全を第一に、そして住みたい、住み続けたいと思っただけのまちづくりを目指してまいりました。

しかし、現代は、これまでにない自然災害や世界的な社会情勢の混乱など、予測不可能な時代でもあります。このような時代であるからこそ、幾多の困難を乗り越え湯浅町の歴史をつくってきた先人に思いを馳せ、私たちも知恵を絞り工夫を凝らし、一丸となってよりよいまちづくりに取り組まなければなりません。

この百三十周年を新たな飛躍の契機と捉え、町民の皆様とともに力強く未来へ踏み出す決意でございます。湯浅町のまちづくりには、引き続き、皆様の温かいご協力が不可欠です。これからも、全力で邁進する所存でございます。結びに、皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。開式の挨拶といたします。

令和八年六月二十八日

湯浅町長 上山 章善